



創立：1980年(昭和55年)1月10日  
 会長：岩田 修司  
 幹事：堀 慎治  
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生  
 例会日：毎週木曜日PM12:30~  
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3  
 ヒルトン名古屋910号  
 TEL：052-211-3803  
 FAX：052-211-2623  
 MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

# WEEKLY REPORT

## ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014~2015年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 LightUp Rotary  
 ロータリーに輝きを

2014~2015年度  
 国際ロータリー第2760地区  
 ガバナーのテーマ  
 集まるう・語るう・楽しもう

2014~2014年度  
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ  
 感謝の気持ちを持って、  
 ロータリーライフを楽しもう

## 第1696回例会

~私の心に残るロータリー体験を語る月間~  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年5月14日(木) 晴れ 第43回

司会：佐治寛行会場委員  
 斉唱：「君が代」「奉仕の理想」  
 ゲスト：NPO法人 愛岐トンネル群保存再生委員会事務局長  
 村上真善さん  
 交換留学生 Lea Stalderさん  
 米山奨学生 徐凌歆さん  
 中部ケーブルネットワーク 橋本真由美さん

### 会長挨拶

岩田修司会長

今日は、渋沢栄一について、お話をしたいと思えます。

渋沢栄一は江戸時代末期から大正初期にかけての日本の武士・官僚・実業家であったという人で、第一国立銀行や東京証券取引所などといった500社余りの多種多様な企業の設立、経営に関わった日本の資本主義の父と言われた人でございます。あの理化学研究所の創設者でもございます。この人が言った言葉の中に「悲観的な人は残酷である」という言葉がございます。1つは、グローバル化の進捗による競争の激化でございます。明治の場合は、モノを中心とした工業社会であり、現代は情報社会という事はございますが、商品や情報が世界中を駆け巡るようになったという点では、全く同じでございます。そうすると、どうしてもライバルが増え、競争が激しくなったという事でございます。



もう1つは、社会の価値観の変化に伴って人々の生活に大きな影響が及んでいるという点でございます。明治の日本は江戸時代の農業中心の社会から、工業化への大きな転換が図られた訳でございますので、当然江戸時代以来の常識と文明開化に伴う新しい常識との葛藤が起こった訳でございます。現代社会はと言いますと、アメリカンスタンダードとの違いと申しますか、家族主義の経営VS成果主義、株主重視VS従業員の生活重視といった価値観のせめぎ合いが起こっている訳でございます。しかし明治と現代では決定的な違いがございまして、その1つが国力や立ち位置の差でございます。現代の日本はまだ世界3位の経済力を誇る大国であり、世界の国別好感度調査においても必ず上位に名を連ねる国でございます。明治時代の日本は経済力も工業力も貧弱で、世界的には小さく無名な国であり、いつ西欧列強の植民地になってもおかしくないといった状況にあった訳でございますが、そういった中で、悲観論ばかり言って何もしないという事では、未来は創り出せないという思いで、渋沢栄一はフランスに渡った頃感じ取った西欧列強の力の源泉は経済力にあるという実感から、日本に資本主義を根付かせようと一身を捧げたそうでございます。冒頭で言いましたが、「悲観的な人は残酷である」という事は、悲観論ばかり言っていて何もしないという事は、未来を育もうとする者の足を引っ張り、子々孫々に対して残酷極まりない行為であるという事でございます。常に前向きに、やれば出来るという思いを持ち、強い心でチャレンジしていく精神が必要ではないかという事ではないかと思えます。

### ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員長

- 5月は家内の誕生月であり結婚記念日です。 岩本 成郎さん
- 新会員3名お迎えして、新しい仲間が増えた事大変嬉しく思います。 岩田 修司さん
- 本日は長谷川隆さんが入会されます。よろしくお祈いします。鈴木 淑久さん
- 新会員の皆さん、名古屋瑞穂RCによろこそ!!これから宜しくお願いします。 湯澤 信雄さん
- 村上さん、本日の卓話ありがとうございます。 高木 元明さん
- 前立腺癌の検査に行ってきた。結果はグレーでした。 内田 久利さん
- 長期出張で欠席が続きました。今日からは出席出来ますので宜しくお願いします。 湯澤 勇生さん

### 出席報告

山本英雄出席委員長

会員65名 出席45名 (出席計算人数45名)

出席率 81.8% 4月23日は補填により 96.2%

### 幹事報告

- 5月14日(木)13:40から第6回CA・第11回理事会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。
- 5月14日(木)理事会終了後、インターアクト準備小委員会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。
- 5月21(木)13:40から次年度予定者会議をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。

### 委員会・同好会報告

ゴルフ部会 5月度(第359回)

開催日:5月8日(金)

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 堀 慎治さん	71	+1	72
2位 内田久利さん	81	7	74
3位 森 裕之さん	87	13	74

第360回6月度ゴルフ例会は6月17日(水)、三好カントリー倶楽部にて開催されます。

### 社会奉仕委員会

近藤茂弘委員長

5月30日の植樹祭につきまして、持ち物は参加者に配布したハガキに記載があるのとおりです。当日、名古屋瑞穂RCのブロックを確保出来るよう調整しております。

### 地区研修・協議会



5月10日(日)にウェスティンナゴヤキャスルにて地区研修・協議会が行われ、伊藤会長エレクトをはじめ20名が参加しました。

## 5月誕生日おめでとう

高村 博三さん 長瀬憲八郎さん 加納 裕さん 堀 慎治さん

## 米山奨学生紹介



本年の4月1日から来年の3月31日まで、当RCで徐凌欽さんを米山奨学生としてお迎えします。

### 奨学生挨拶

名古屋大学理学部生命学科4年生の徐凌欽です。RCで1年間お世話になりながら頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

## 新会員入会式

新会員入会式にてバッジとネームプレートが新会員に渡されました。

バッジはロータリアンの誇りと奉仕をさせて頂く謙虚な気持ちを着用する証です。名札は会員、ビジター、ゲストの皆さんに名前を覚えて頂くのに役立ちます。



### 長谷川隆さん

はせがわクリニック 院長 分類:形成外科

昨年に新規開業をしたばかりで、何かと忙しい身であるため、お役に立てる事は少ないかも知れませんが、頑張りますので宜しくお願い致します。



### 北岡寿人さん

株式会社レフォルマ 代表取締役 分類:内装設計

本日からお世話になります。まだ45歳で、経営者としても未熟ですので、これから皆様に教を請いたいと思います。宜しくお願いします。



### 鳥山政明さん

名三工業株式会社 代表取締役社長 分類:産業機械商社

本日より名古屋瑞穂RCに入会する事になりました。頑張っって一日も早く、ロータリアンになれるように致します。皆様のご指導、ご支援宜しくお願いします。

## 卓話 NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会事務局長 村上真善さん

### 市民が創る未来への遺産 愛岐トンネル只今再生中



春日井市内を走るJR中央本線の駅の1つである、勝川駅の高架化改修工事が2005年に開始されました。この駅には、明治に鉄道が開業して以来、赤レンガ土台のプラットフォームが残ってましたが、駅舎と共に撤去されることになりました。そこで、100年前の赤レンガを駅前再開発のモニュメントとしてリユースする「市民赤レンガ剥ぎ取り隊」という町おこしイベントが開かれました。その最中、市内にレンガのトンネルも残っていると、古老から意見がありました。この言葉を切っ掛けに、明治期に開通した旧国鉄中央線の隧道群「愛岐トンネル」と運命の出会いをする事となります。私達市民は有志で集まり、このトンネルの保存・再生活動を展開しています。

旧国鉄中央本線は、1900年に多治見市一名古屋間に開通しました。この地方はせとものに代表される瀬戸・多治見など日本有数の窯業地帯として発展しました。また、近代化発展のマテリアルとして木曾ひのきなどの豊かな森林資源が使用されていました。これらの大量な資材運搬路として、汽車貨物の需要が増大したことが、鉄道開通の背景にあったと思われます。

この中央本線の春日井-多治見間には、約8kmの距離に14基ものトンネルが造られています。1961年の新線開通により廃線になり、庄内川沿いの崖の途中にある軌道敷は、2006年に発見されるまで人々の記憶から消え去りました。

この発見を受け、2007年に会員93名の旧国鉄トンネル群保存再生委員会

としてNPO化し、市民も巻き込み展開しています。活動は地権者の許可を得て発掘・調査を行うことから始まりました。半世紀近く放置された廃線は、5人掛かりでも1日5mも進めないほど鬱蒼とした藪に遮られていました。その先に14基のトンネル群があり、ほぼ廃止時の姿で残っていました。1年をかけ、愛知県側の廃線1.7kmを開拓し、2008年には廃線の再生見学会を開催しました。その6年目となる昨秋には、全国から2万人を超える来場者が訪れるまでになり、埋もれていた貴重な産業遺産への関心の高まりが窺えます。

レールや枕木が撤去された廃線は、赤レンガトンネルと路盤に敷かれた碎石を頼りに再生しました。43年間、人手が加わらなかった事により、廃線にはレッドリストに掲載される草木など220種類もの植生が回帰しています。軌道上に育ったその自然を極力切らない方針をとった為、トンネル間には曲がりくねった道が出来上がり、自然と産業遺産が共生する全国でも珍しいエリアが誕生しました。

愛岐トンネル群は、調査の結果、現存する明治期のレンガ製隧道としては国内最多を誇る規模である事が判明しました。経済産業省の「近代化産業遺産 続33」に選定されると共に、2011年には国土交通省「手づくり郷土賞」に認定されるなど脚光を浴びました。一昨年3月には北海道から九州までの鉄道廃線の活用を目指す市民団体が一堂に会した「全国トンネルサミット」を開くなど、全国規模の鉄道廃線ネットワーク作りも加速しています。

2009年には愛知県が地域産業資源に認定し、2012年から春日井市観光協会が最重要観光拠点に指定するなど、官民協働体制も前進しています。また、中部大学とのコンソーシアムも進め、COP10への共同出展や観光資源化動向調査を実施するなど、学術的展開も行っています。

民間所有であった愛知県側の軌道敷は市民の浄財で買い取るため、ナショナルトラスト運動を開始しました。この市民力による活動に共感が広がり、全国でも珍しいナショナルトラストによる産業遺産とその敷地買い取りが今年の6月に実現しました。8kmあまりの施設群は愛知・岐阜両県にまたがり、地権者も民間、自治体、JRと混在し、共通の意思形成が難しくなっています。そこで、廃線に隣接するJRの駅間を、電車に乗らず廃線を歩いて繋ぐ「駅間フットパス構想」を提唱し、広域の新たな観光資源としての再活用を呼びかけています。

活動にあたっては、廃線維持管理にランニングコスト削減がなされる事を危惧し、行政との協調を避けました。多くの地権者が混在する中、遺産群の明確なビジョンを共有するため、各自治体、市民団体等を含めた地域横断の組織を作り、運営実行組織を設けるのが望ましいと思います。

行政財源が不足する中、自立できる施設群として自主財源を創出する努力が求められています。そんな中、昭和初期頃まで駅弁に附属して売られていた陶器製お茶容器の汽車土瓶の欠片が廃線で見つかりました。これを切っ掛けに、地元窯業者と連携して、汽車土瓶の復刻、販売を始めました。また、メンバーの若者が自生したモミジを活用したモミジ茶、モミジサイダーを開発するなど、地域産業も行っています。同時に、過去6年間の特別公開の実績をベースに、商工会議所や観光協会と連携を深め、来場者への飲食提供やお土産物の開発を模索するなど、甦ったトンネル群を核とした地域活性化を目指しています。

私達は、この近代産業遺産群と自生する生物相の美しい自然環境を柱に、賢明な再利用を目指し、国の登録有形文化財認定のための準備を進めるなど、地域観光資源として100年先の未来に引き継ぐ工夫と知恵を結集していきます。

## 例会のご案内

- 今週の卓話 5月21日(木)
  - テーマ: 実体験の中で感じた日本の防衛
  - 卓話講師: 東三河分区担当ガバナー補佐 中島忠幸さん
- 次週 5月28日(木) R規定に基づき休会
- 次々週卓話 6月4日(木)
  - テーマ: 日本での1年間の経験
  - 卓話者: 青少年交換留学生 Lea Stalderさん